

図書館の魅力

『読むスポーツ!』

子どもから大人まで幅広くご利用いただける憩いの場「図書館」。その魅力についてお伝えしていきます。「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催にちなみ、9月のテーマコーナーは『読むスポーツ!』。おすすめ本を紹介します。

『図解でわかりやすい! スポーツ観戦を楽しむ本』

(成美堂出版編集部/編 成美堂出版)



新体操、近代五種、ラグビー、カーリングなど、メジャースポーツからいま注目の競技まで、人気の68競技の基本ルール、競技場や歴史、見どころなどを、写真やカラー図版を使って徹底解説。パラスポーツの種目も掲載する。

『知ってた?世界のスポーツルールと歴史』

(アダム・スキナー/文 マーク・ロング/絵 奥沢駿/訳 徳間書店)



スポーツ観戦が100倍楽しくなる!ラグビー、バスケットボール、陸上競技、水球…。60以上の世界のスポーツを取り上げ、簡単なルールと歴史、おもしろくて興味深いマメ知識をイラストとともに紹介する。

【紹介文は株式会社図書館流通センターの書誌詳細より引用】

コロナ禍の今、スポーツを直接観戦するのは難しい状況ですが、テレビ中継やネットでのライブ配信が行われるスポーツもあります。

図書館では、スポーツ観戦がより一層楽しくなるような「ルールや歴史の解説本」「選手の伝記」などを取りそろえています。コロナ禍の秋は「読むスポーツ」をお楽しみください。



ひとまち・モータースポーツ

モータースポーツお宝探検隊 vol.5

1970年代前半、ホンダのエースライダーとして活躍した隅谷守男選手。当時全盛だった2サイクルマシンに対し、構造的にパワーと重量で不利な4サイクルマシンを駆り、コースレコードを次々更新しながらライバルたちと伝説の名勝負を繰り広げました。

そんな隅谷選手に憧れ、自身のバイクヘルメットを同じカラーリングに塗装するほどのファンだったのが高橋政博さん(71歳 国府町)です。高橋さんは鈴鹿サーキットでのオフィシャル活動を通じて隅谷選手と顔見知りになり、念願かなってヘルメットにサインをもらったのが1975年の夏。隅谷選手が「ボルドール24時間」参戦のため渡仏する直前のことでした。しかし、ほどなくして海の向こうから届いたのは、練習中の事故による隅谷選手死去の悲しい知らせでした。

あれから46年。サインのインクは色褪せましたが、その力強い筆跡には隅谷選手の見果てぬ夢が込められているようです。



▲隅谷守男選手サイン入りヘルメットを手にする高橋さん

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード



先月閉幕した東京2020オリンピック。57年ぶりの自国開催に加え、メダルラッシュに沸きました。鈴鹿市にゆかりのある選手の皆さんも大活躍。市民の皆さんはテレビにくぎ付けになられたのではないのでしょうか。私もその一人です。

今回は無観客での開催。そして、新型コロナの感染拡大防止のため、選手の皆さんの行動が制限される大会となりました。そんな中で話題になったのは、選手村の様子を配信した選手たちのSNSです。特に提供される食事が大人気だったようで、「世界で一番おいしい餃子は、選手村にある」と絶賛しながら、餃子を頬張る選手もいました。

ちなみに選手から「世界一」と称された餃子の正体は、市販の冷凍餃子。早速買い求め、世界一の餃子とビールをいただきながら、しみじみとオリンピックの余韻に浸ったのでした。(一)